

成人向け
R18



この物この物語はフィクションであり、
実在の人物・団体・名称等は架空のもので
実際の事件や団体とは一切関係ありません。
本作の登場人物はすべて18歳以上（成人）です。

チェンソーマン



ソ連
モスクワ

分かっているな?

君を呼んだのは、

最後のテストの
ためだ。

ソ連の実験体
(モルモット)。

君もよく
分かっているだろうが…

最後の教育に
なる予定だ。

ギョッ

忠実なソ連
人民。

ドキ…

ドキ…

彼女の体には、爆
弾の悪魔の心臓が
移植されている。

…

理解しました。

今回は
誰を相手にすれ
ばよろしいので
しょうか？



誰かじゃない。



ガキ





今回の教育者たち
は、ソ連の偉大な同志
たちだ。

スパイであり、優秀な愛国者である
レゼなら、やり遂げ
られるだろう。

そんな話は、
聞いたことが...

祖国の仕事に疑問
を抱くモルモットの
末路が

どうなるかは
分かっている
だろう？

おお、君が
優秀な革命同
志のレゼか。

噂は聞いていて、
よく知っているよ。

顔立ちもなかなか
整っている人な。

さて、では……
教育を始めよう。

誠心誠意、
教育に臨むように。

スジ

スジ



さあ…

早く！

ユドッ



ちゃ

そう…
最後だ。

最後……

スッ



おお?! ずいぶん積極的だな?

脱いだほうが、
教育も盛り上がるだろう。

こんな邪魔な服は、
さっさと脱ごう。

ずぼっ

そうそう。実に立派だ。
僕だけを見てくれるなんて、
光栄だよ。

ぬほっ

ぬほっ

ぬほっ

でも、他の同志たちが
嫉妬しないかな？

でも、他の同志たちが
嫉妬しちゃうかも
しれないよ？

他の同志たちも
寂しくないように、
ちよっと手を
貸してやれ。

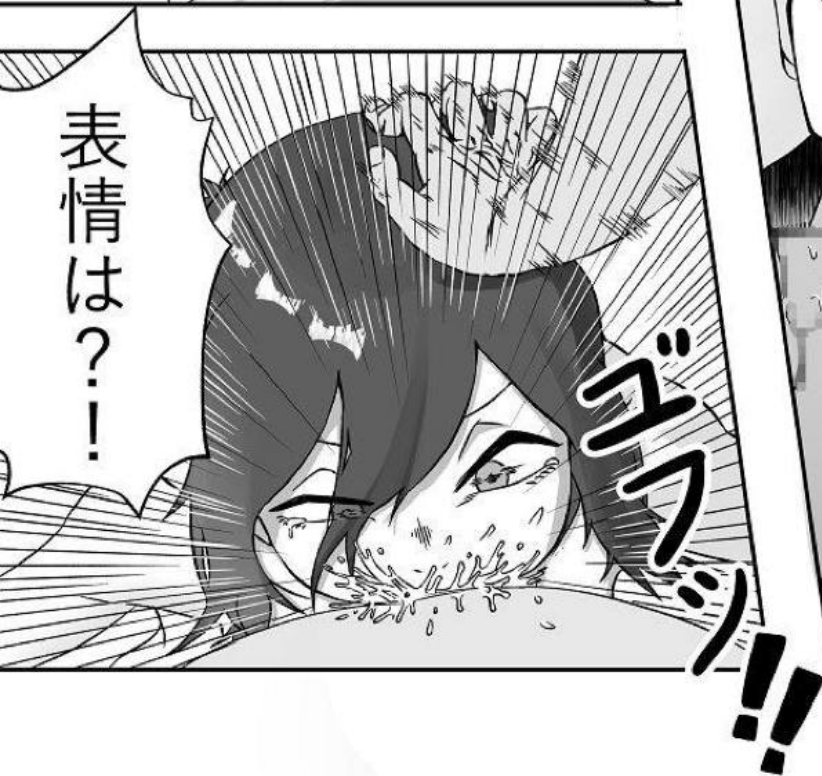
あ…

スシ

…!?

もつとだ、
情熱的に！

アッ



ギョッ

モルモットなら、
モルモットらしく…

もつと学ぶ
意欲を見せろ！

あっ！

くぼっ

くぼっ

くぼっ

くぼっ

くぼっ

くぼっ

くぼっ

そうだ。ようやく
感覚が掴めてきたな！

手は
止めるな！

ぴゅっ

そろそろ
出すぞ！

ぴゅっ

ぴゅっ

ゲオ



ソ連の
モルモットが
もう疲れたのか？

まさか！
レゼ同志がやめたいと
いうなら、いくらでも
受け入れてやるさ。

ククッ

代わりに、『他の』
モルモットたちに
教育を始めさせるとしよう。

...

この愚かなアソコに
立派な教育を
施してください。

私の...

はあ

はあ

他の子たちに
教育を受ける機会を
奪わせたくないんです...

はあ

パッ♡

はあ

そこまで言うなら、
仕方がないな。



ああ

あ

ぐいっ♡

あ...

ぐいっ♡

ああ...

はあ
あ!

やめて！

最初は少し
ゆっくりり！

ぬぷっ

ぬぷっ

痛い！

うるさい…

ぬぷっ

レゼ一人じゃ
手に余るみたいだな。

他の
モルモットも
呼んでみるか？

やっと
静かになったな！
実験ネズミの
くせに！

おとなしく
口を閉じて、
気分のいい声でも
出してろ！

グウウッ！

スプッ

フッ









レゼ?

ス〜



こういう時は、
なんて言うべきだと
教わった?



ま……
まだ……



足りない
モルモットに、

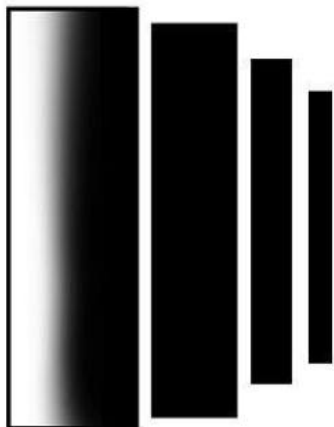
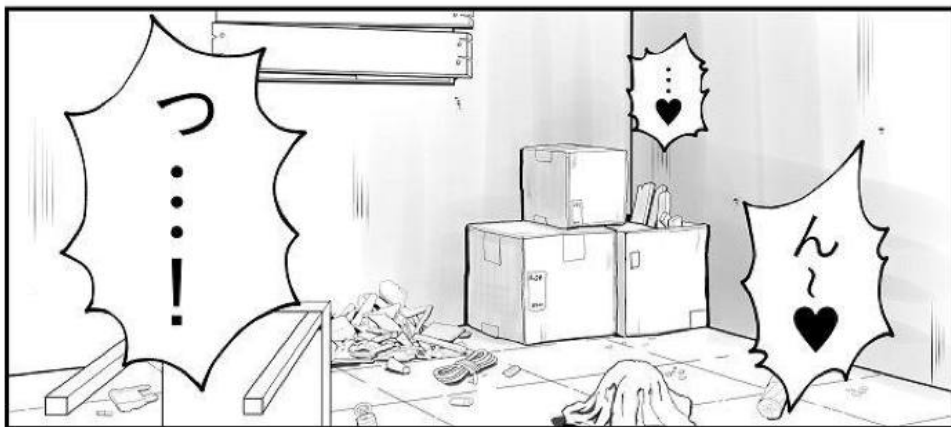
補習の教育を
ください。



まだ足りません。♥



フルン



肩で息をしながら、いきそうになってるじゃねえか？

違う…。私は、嫌がってるんだ…！

ぬぽ

ぬぽ

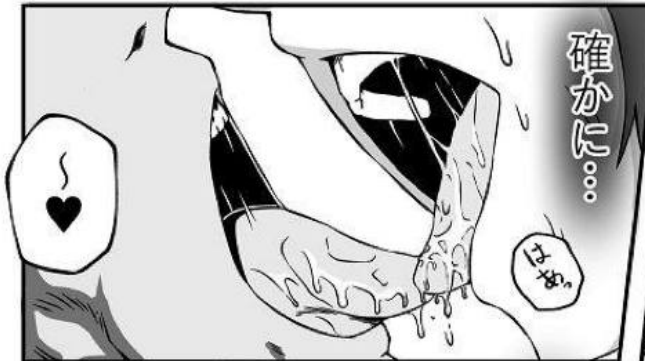
ぬぽ

ぬぽ

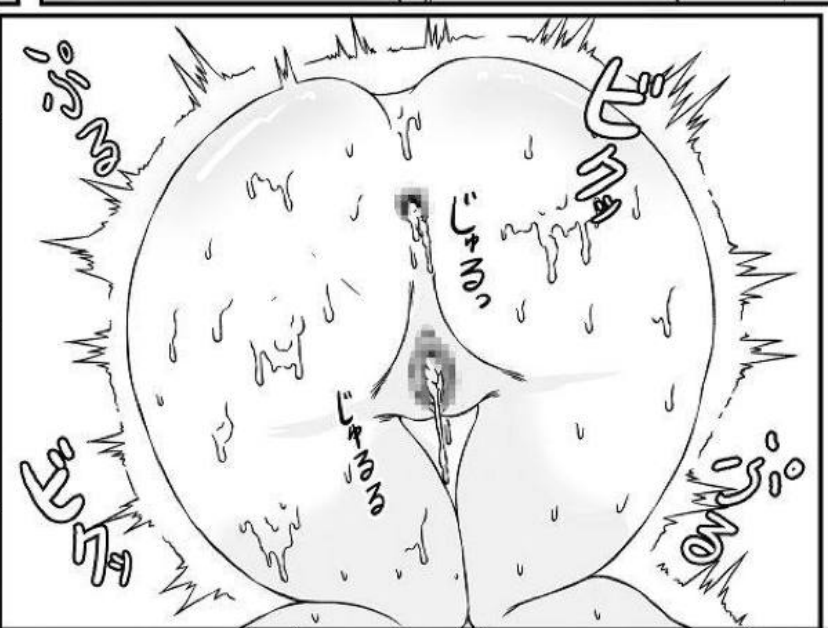
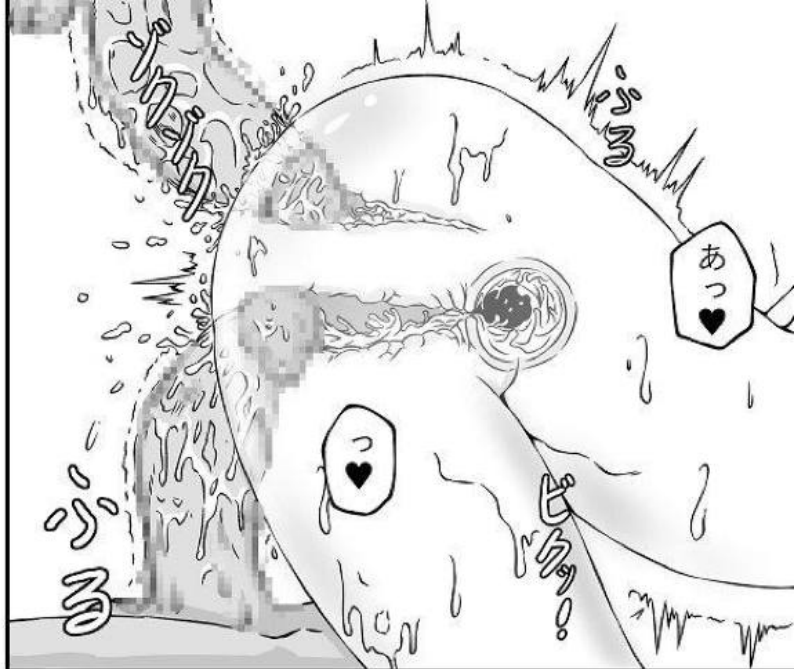
ぬぽ



違う。私はただ、他のモルモットたちのために、仕方なく……！







普段よりずいぶん
ひどい有様だな。

壊れて
いないか？

無惨な有様だな。

気持ち。
ふう。



そうだろ？



それは問題ない。

は

は

はあ



いいえ。



ヒクッ

ワン♡

パカッ

言うことをよく聞く、ソ連のワンちゃんだからな。

ほんの少しだけ、もう少し気持ちよくなりたい...







ふう……
楽しかったな。

もう少し
気持ちよくなりたい……



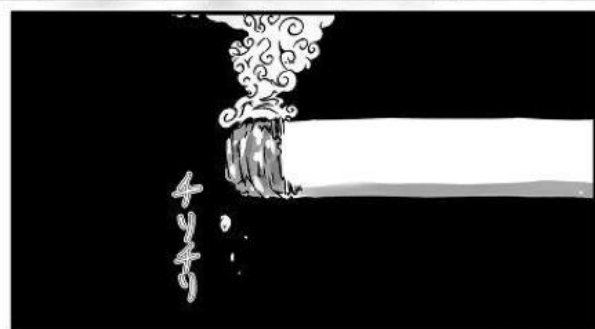
それにしても
驚きました。

あのモルモットが、
あんなに下品に
尻を振るとは。

もし正気を失って
安全ピンを
引いていたら、
我々は全滅でしたかね。

カチッ

そんなはずは
ありません。



一生苦しんできた
モルモットにとって、
快樂は甘い罠ですから。

我々が使いながら、
十分に開発してきた
ではありませんか？

それは
そうだな。

ところで、
聞きましたか？

あのモルモットを
日本へスパイとして
送るそうですよ。

そうか？

残念がるか
思いましたか？

俺が？



あまりに突きすぎて
ガバガバになった
玩具を、
俺がどうして気にする？



それでも、
よく使っていたから
大事にしているのかと
思いましたが？



まさか。



ガバガバになった
オナホールを
気にする人間が
どこにいる？



完